

DAITO CHEMIX

平成26年3月期 第2四半期決算説明資料 (平成25年4月～9月)

ダイトケミックス株式会社
平成25年10月30日

DAITO CHEMIX

将来見通しに関する記述について のご注意

DAITO-KISCO Corporation

Fukui Plant

Tokyo Office

Shizuoka Plant

Head Office

予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競合状況や不確定要因により実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

第2四半期 業績概要

(百万円、%)

		25年3月期	26年3月期	前年同期比	
		上期実績	上期実績	増 減	伸び率
売上高	化成品事業	3,642	3,607	35	1.0
	感光性材料及び印刷材料	2,742	2,759	16	0.6
	写真材料及び記録材料	257	500	242	94.3
	医薬中間体	481	296	184	38.4
	その他化成品	160	51	109	67.9
	環境関連事業	711	637	74	10.4
	合 計	4,354	4,245	109	2.5
売上総利益		86	443	357	-
営業利益	化成品事業	483	13	470	-
	環境関連事業	13	45	31	-
	消去又は全社	7	2	5	-
	合 計	463	34	497	-
経常利益		451	91	543	-
税引前当期純利益		588	83	671	-
当期純利益		594	75	670	-
1株当たり配当金(円)		2	0	2円	-

D/

財 政 状 態

12,483(百万円)

流動資産 4,688	流動負債 2,679
	固定負債 1,741
固定資産 7,795	純資産 8,062

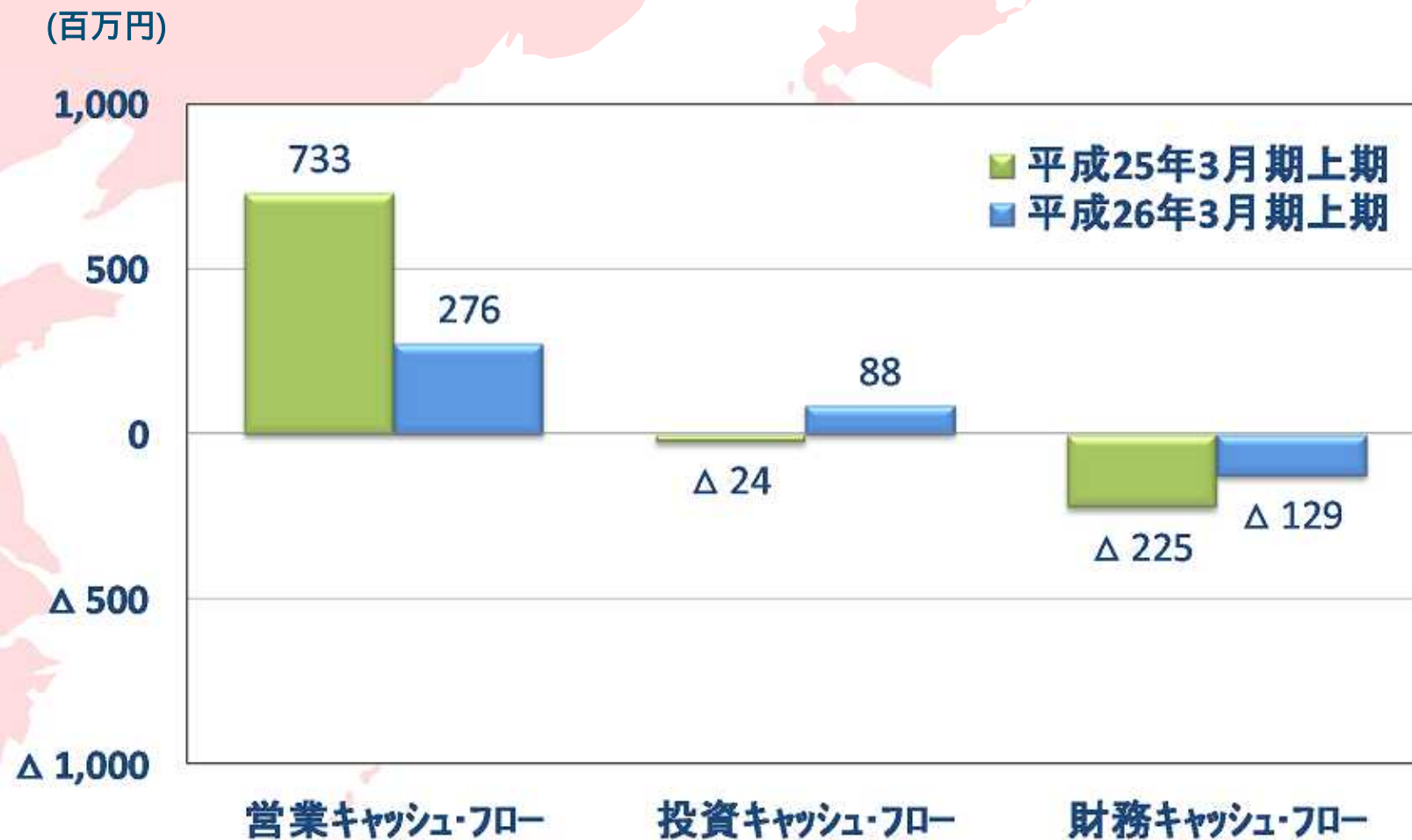
平成25年3月末

12,476(百万円)

流動資産 4,810	流動負債 2,093
	固定負債 2,182
固定資産 7,665	純資産 8,200

平成25年9月末

キャッシュ・フローの状況



平成26年3月期業績予想

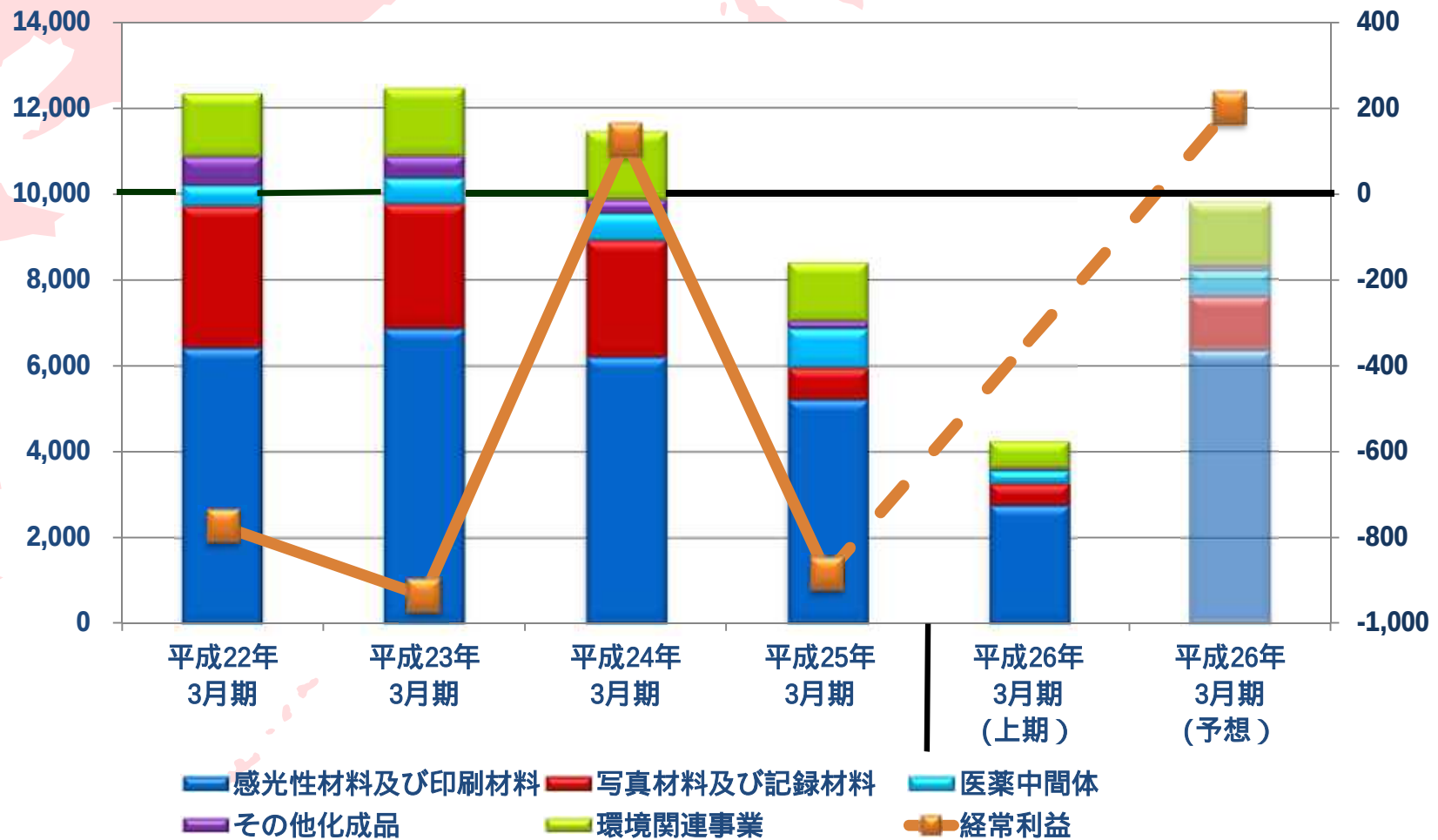
(百万円、%)

		平成25年3月期			平成26年3月期		
		上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	通期予想	伸び率
売上高	化成品事業	3,642	3,403	7,045	3,607	8,300	17.8
	感光性材料及び印刷材料	2,742	2,470	5,212	2,759	6,350	21.8
	写真材料及び記録材料	257	486	743	500	1,250	68.2
	医薬中間体	481	419	900	296	600	33.3
	その他化成品	160	29	189	51	100	47.1
	環境関連事業	711	654	1,365	637	1,500	9.9
	合 計	4,354	4,057	8,411	4,245	9,800	16.5
売上総利益		86	44	130	443	1,200	—
営業利益	化成品事業	483	445	928	13	150	—
	環境関連事業	13	2	11	45	100	—
	消去又は全社	7	10	17	2	0	—
	合 計	463	436	899	34	250	—
経常利益		451	435	886	91	200	—
税引前当期純利益		588	658	1,246	83	200	—
当期純利益		594	785	1,379	75	200	—
1株当たり配当金(円)		2	0	2	0	2	—

売上、経常利益の推移

売上高
(百万円)

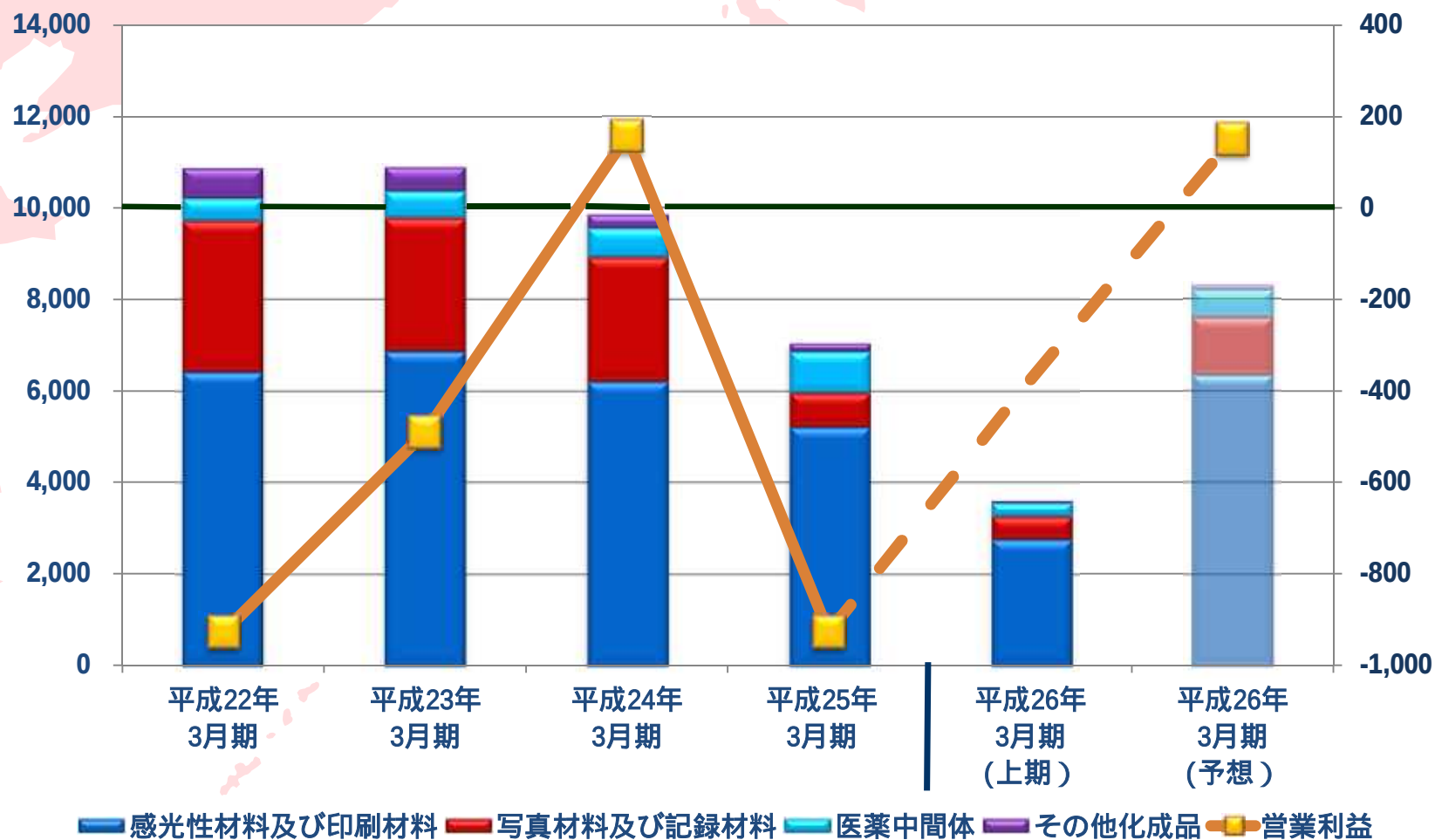
経常利益
(百万円)



化成品事業の業績推移

売上高
(百万円)

営業利益
(百万円)

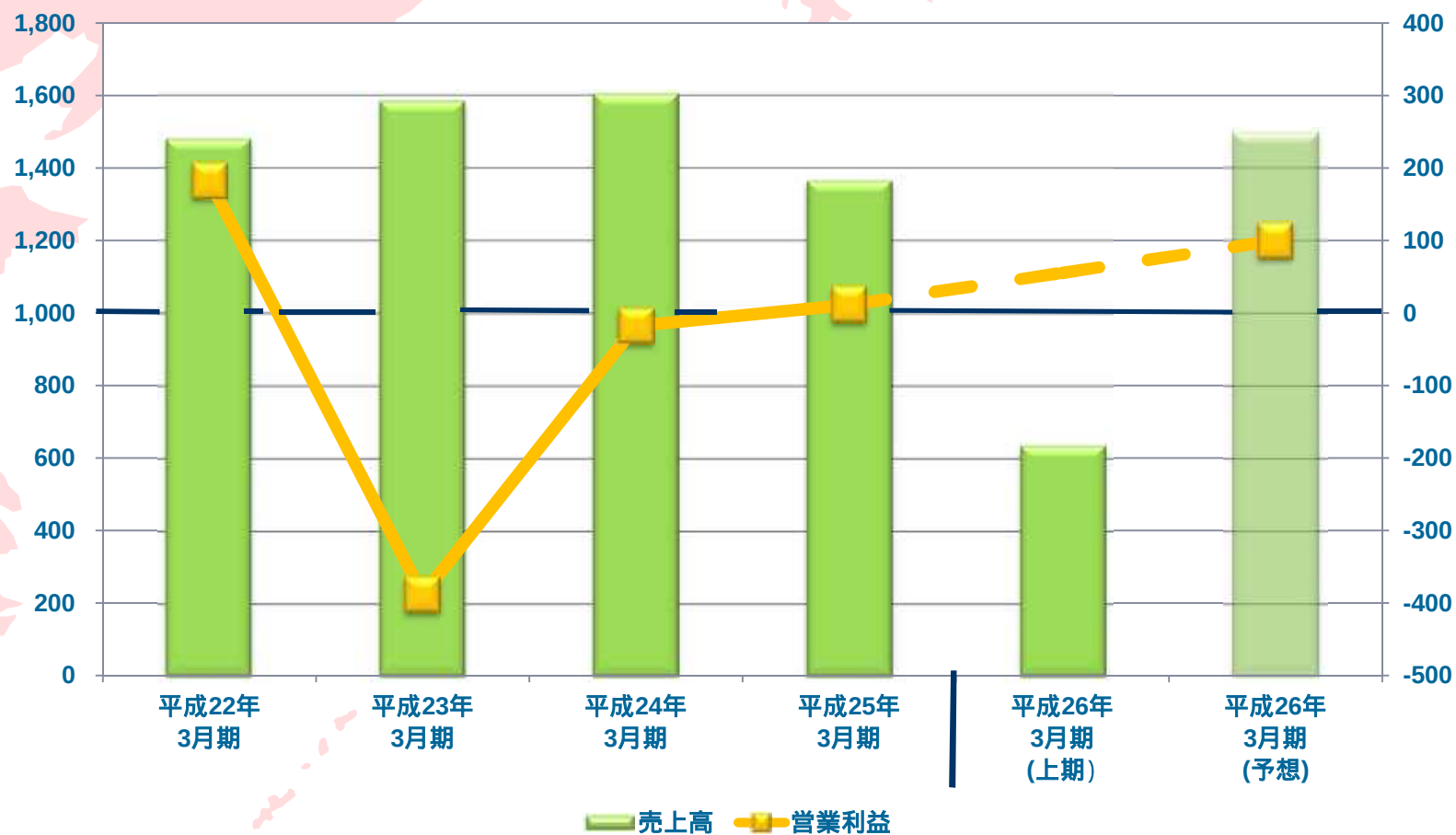


D

環境関連事業の業績推移

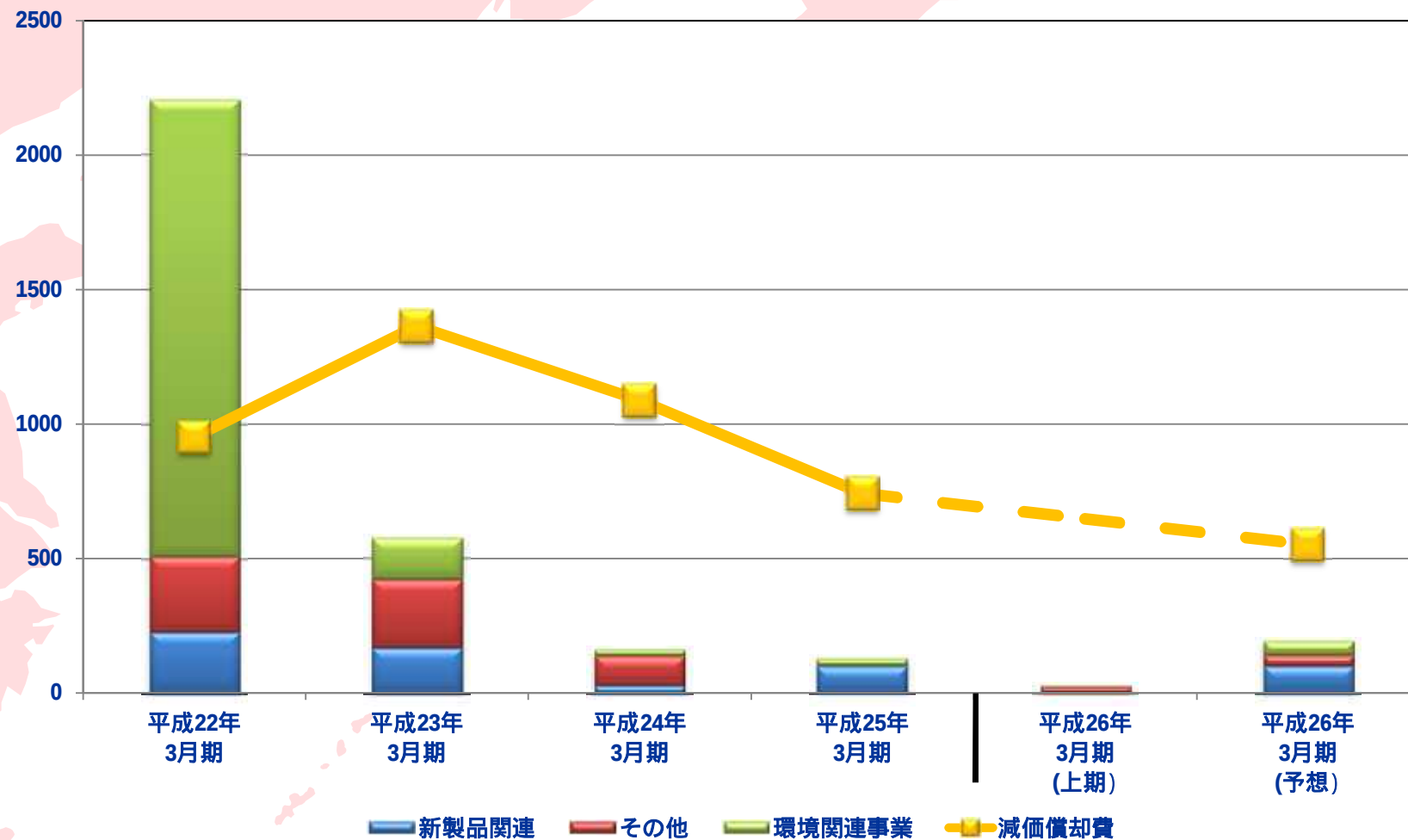
売上高
(百万円)

営業利益
(百万円)



設備投資の推移

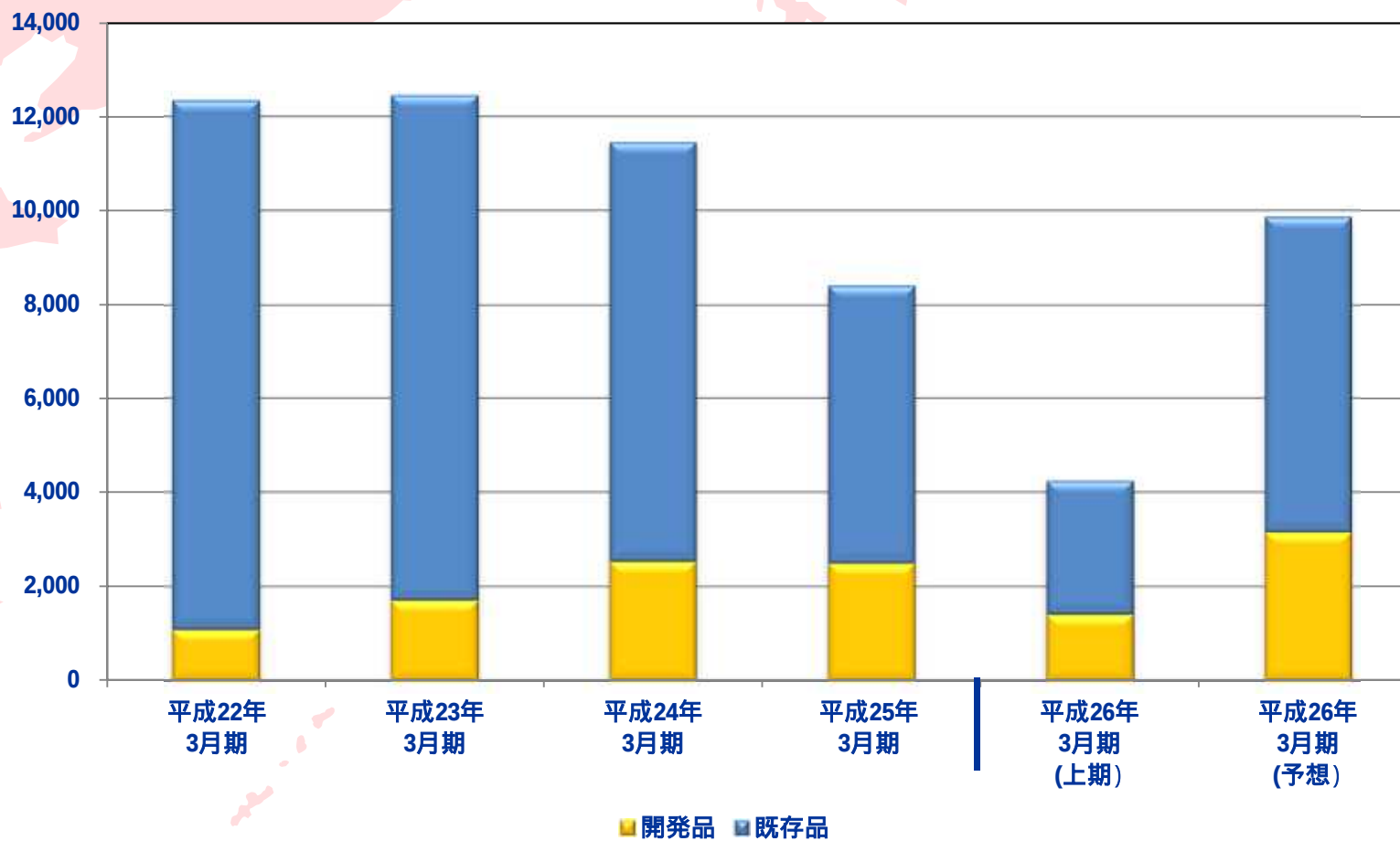
(百万円)



DA

既存品と開発品の売上の推移

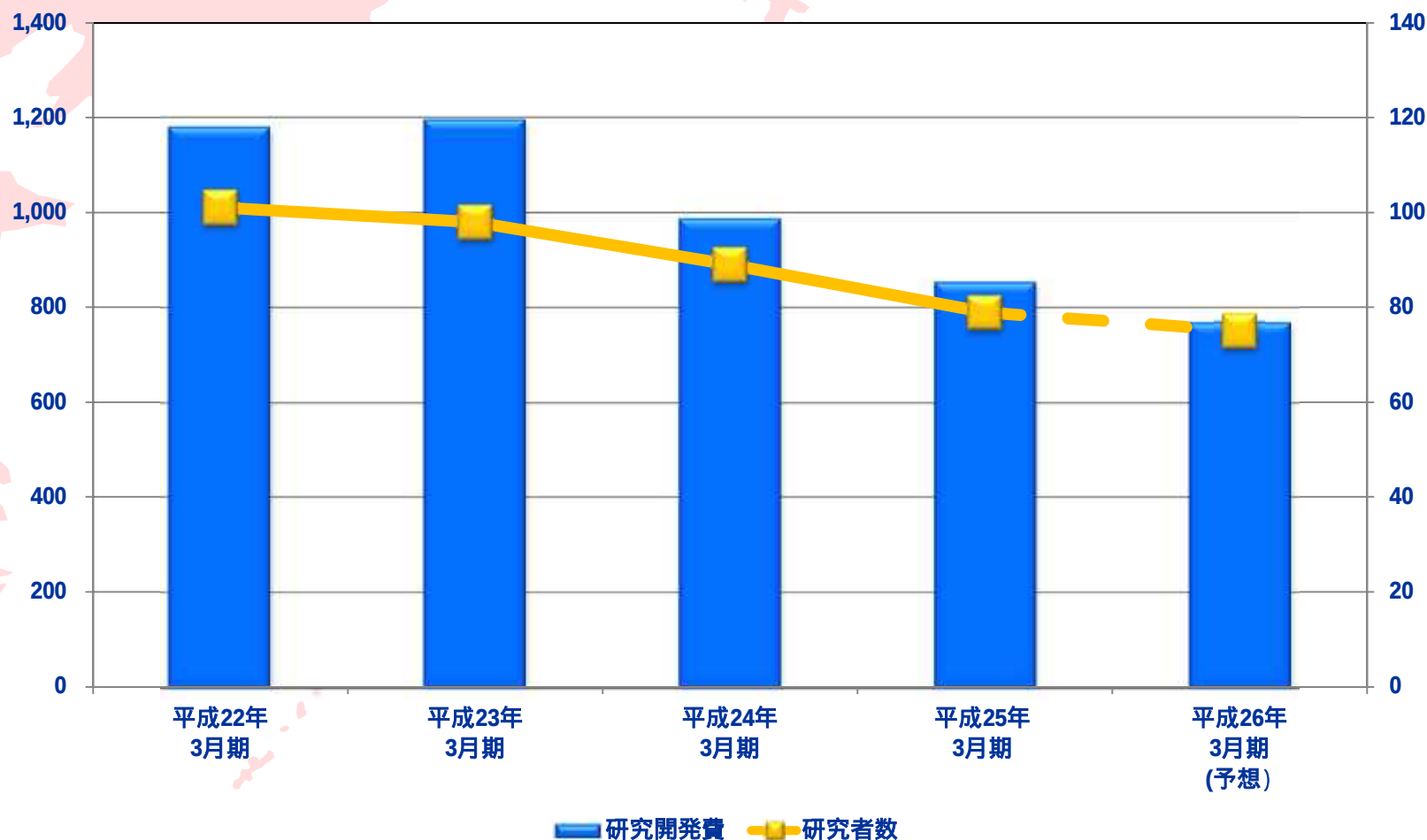
売上高
(百万円)



研究開発費・研究者数の推移

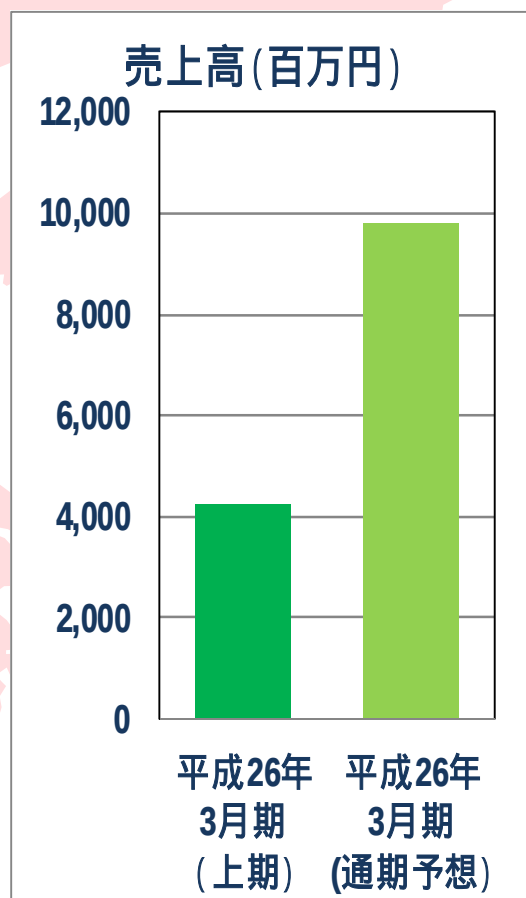
研究開発費
(百万円)

研究者数
(人)



平成26年3月期の経営計画

〈収益構造を改革し、再び成長軌道にのせる〉

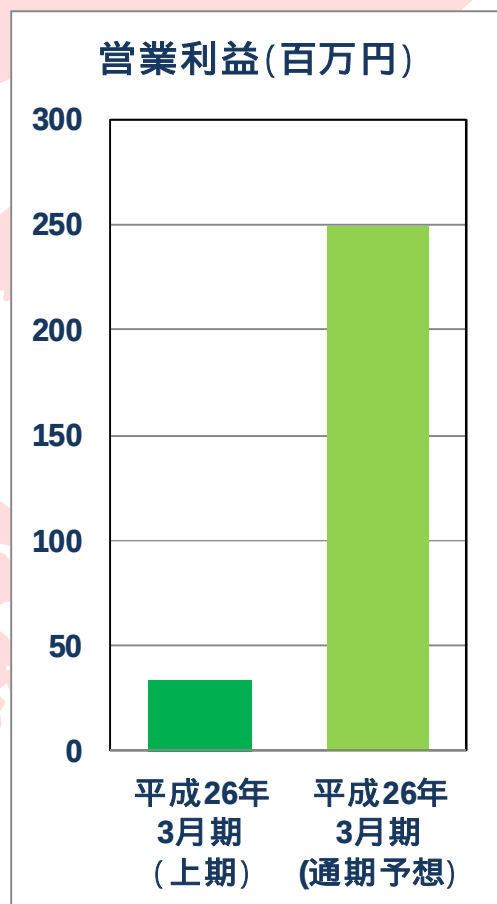


1. 上期売上高の状況(計画比)

- ・平成26年3月期の売上予想98億円に対して、上期の売上は42.4億円、進捗率は43%となった。
- ・感光性材料は、半導体用材料は堅調に推移したが、液晶用材料は想定より売上が減少した。
- ・写真材料は、インスタントフィルム用材料の売上が想定を上回ったが、モニター用液晶パネル材料の売上が減少した。
- ・医薬中間体は、想定より売上が増加したが、前期と比較すると減少した。
- ・その他化成品は、想定より売上が減少した。
- ・環境関連事業は、一部主要顧客の工場稼働が低下し想定より売上が減少した。

平成26年3月期の経営計画

〈収益構造を改革し、再び成長軌道にのせる〉



2. 上期営業利益の状況(計画比)

- ・平成25年5月9日時点の上期営業損失の予想は、50百万円であったが、34百万円の営業利益となった。
- ・営業利益が予想を上回った要因は、売上は減少したが、当社グループで取り組んだ経費削減の効果が表れたこと。

DAITO CHEMIX

〈メモ〉

